

令和2年度 入札監視委員会議事概要

九州防衛局

開催日及び場所	令和2年12月1日(火) 福岡第2合同庁舎10階 共用打合室4	
委員	牧角 龍憲 (大学名誉教授) 松藤 泰典 (大学名誉教授) 諏佐 マリ (大学准教授) 柴田 祐二 (公認会計士) 徳永 響 (弁護士)	

I 地方防衛局等が発注する建設工事等に関する審議

審議対象期間	令和2年7月1日 ~ 令和2年9月30日		
審議対象件数	70 件		
1. 入札状況について(入札参加資格の設定及び落札者決定の経緯等について)			
抽出件数	5 件	(審議概要) 1 建設工事等発注実績について 2 指名停止の措置状況について 3 談合疑義案件情報について 4 低入札価格調査情報について 5 抽出事案について	
建設工事	一般競争 (政府調達協定対象)		1 件
	一般競争 (政府調達協定対象外)		1 件
	随意契約		1 件
建設コンサルタント業務等	2 件		
	意見・質問	回 答	
○ 委員からの意見・質問 ○ それに対する回答等	【建設工事等発注実績について】 特に意見なし 【指名停止の措置状況について】 特に意見なし 【談合疑義案件情報について】 該当案件なし 【低入札価格調査情報について】 特に意見なし		

	意見・質問	回答
<p>○ 委員からの意見・質問</p> <p>○ それに対する回答等</p>	<p>【抽出事案について】</p> <p>1 [新田原(2)庁舎新設等建築その他工事]</p> <p>一般競争(政府調達協定対象)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務内容及び契約金額が高額になった要因について説明してください。 ・建築、土木、設備工事を一括で発注しているのですか。 ・一部の者の入札を無効とした理由を説明してください。 ・技術力の高い業者が安い価格で請け負うのはいいことかと思われませんが。 <p>2 [串良(2)災害復旧工事]</p> <p>随意契約</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務内容及び随意契約とした経緯について説明してください。 ・見積業者を選定した経緯を教えてください。 ・7月の被害で8月に契約ということは、急速な対応だと思うのですが、どのような工法を検討したのですか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は、鉄筋コンクリート造地上3階、地下1階建ての庁舎を新設するもので、規模が大きく、地下階があり、かつ、基礎補強のための杭打ち工事を含まれていることから契約金額が高額となっています。 ・建築工事のすべてに土木、設備工事の一部を含めたものです。 ・本件は施工体制確認型総合評価落札方式であり、調査基準価格を下回った業者に対し施工体制の確認に必要な追加資料の提出を求めたところ、同資料が提出されなかったため無効としたものです。 ・調査基準価格を下回る場合、工事品質確保について契約の内容に適合した履行がなされない恐れがあることから、追加資料の提出を求め、品質確保等の施工体制が確保されると具体的に確認できる場合に施工体制評価点を加点することとしています。 ・本件は、鹿児島県鹿屋市に所在する海上自衛隊串良送信所において、令和2年7月豪雨により崩落した法面の復旧を行うもので、法面崩落により基地外柵が倒壊し、また、崩落した土砂が民有地の林道まで流出したことから、部隊運用への支障及び民有地への影響から緊急性があるものと判断し、会計法第29条の3第4項の「緊急の必要により競争に付すことが出来ない場合」に該当すると解して、随意契約方式を採用しました。 ・土木一式工事の「A」の格付を受け熊本防衛支局を希望していること、鹿屋市内に本店があること、熊本防衛支局と工事契約実績を有していることを条件とした業者に対し、本工事は施工が可能かを確認し、対応可能な回答を得た業者と見積を行いました。 ・早急な対応が必要だったため、測量と施工に必要な詳細図の作成を含んで発注しており、測量後の施工に必要な詳細図の作成において工法を決定する予定です。

	意見・質問	回答
<ul style="list-style-type: none"> ○ 委員からの意見・質問 ○ それに対する回答等 	<p>3〔鹿児島(2)桟橋調査検討〕 建設コンサルタント業務等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桟橋の調査検討とはどのようなことを行うのか説明してください。 ・評価基準に、ワークライフバランス、若手技術者の配置、女性技術者の配置というものがあるのですが、このような評価項目が必要なのですか。 <p>4〔芦屋(2)局舎新設等機械工事〕 一般競争(政府調達協定対象外)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1者応札となった経緯を説明してください。 <p>5〔福岡病院(2)土壌調査〕 建設コンサルタント業務等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院で土壌調査とはどのようなことを行うのか説明してください。 ・技術評価点は、どういうもので差がついているのですか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・測量及び海上ボーリングによる土質調査等を行い、工法の比較検討を行います。 ・ワーク・ライフ・バランス評価については政府全体の施策として評価することが求められているため、また、若手・女性技術者の評価については、将来的な担い手確保の観点から、会社の取り組みとして、今年度の7月から評価することとなりました。 ・当該工事は、局舎新設及び改修、既設建物解体に係る機械工事であり、内容は、空調設備、換気設備、給排水衛生設備等で、小規模事務所に用いられている一般的な設備となります。 今回の1者応札となった要因について、業者へヒアリングを行ったところ、工期が長い一方で工事金額は小さく見積もられるため、工期と経費のバランスが悪く利益が少ない、また、時期的に技術者が不足しており対応できないことが想定されるため、参加を見送ったとのことでした。 また、受注者に対しヒアリングを行ったところ、若手技術者に経験を積ませ、また、会社としての実績とし今後の官公庁への入札参加に繋げていきたいため入札に参加したとのことでした。 ・福岡病院の立て替えにあたり、約9,500㎡の形質変更を予定しているため、土壌汚染対策法において定められた地歴調査及び土壌調査を行い、その結果を福岡県に対し届け出るものです。 ・大きなところで言いますと、企業及び配置予定技術者の業務成績になります。
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>なし</p>	

2. 談合疑義案件の処理状況について			
談 合 疑 義 件 数		0 件	(審議概要) なし
工 事	談 合 情 報	0 件	
	点 検 結 果 疑 義	0 件	
業 務	談 合 情 報	0 件	
	点 検 結 果 疑 義	0 件	
		意 見・質 問	回 答
○ 委員からの 意見・質問 ○ それに対する 回答等		なし	
委員会による意見の 具申又は勧告の内容		なし	
3. 入札結果の事後的・分析結果について(公正入札調査会議への報告内容の確認等)			
審 議 概 要		<ul style="list-style-type: none"> ・ 契約件数と落札率、応札率の分析 ・ 契約件数と一位不動・順位不動の分析 ・ 低入札、不調、不成立事案の分析 	
		意 見・質 問	回 答
○ 委員からの 意見・質問 ○ それに対する 回答等		なし	
委員会による意見の 具申又は勧告の内容		なし	